

會報

令和元年5月30日発行

第71号

関東地区整形外科勤務医会

発行者：会長 山縣 正庸

発行所：事務局 中川 照彦

〒130-8587 東京都墨田区横網2-1-11

同愛記念病院整形外科内

関東地区整形外科勤務医会

電話 (03) 3625-6381

FAX (03) 5608-3211

巻頭言

医師の働き方改革 我々のなすべき事はあるか

千葉労災病院

山縣 正庸

この4年間関東整形外科勤務医会の会長を勤めさせていただきました。当初の目標は①会員数の増加を含めた当会の活性化、②勤務医師の職場環境の改善としていた。①について、当会員は教育病院で働く先生方が多いので若手の勧誘を進めるよう諮ったつもりである。教育講演会を充実させ、またいくつかの病院では手術予定の開示をも計画した。病院間の手術見学の幅を広げようとしたが、実際には専門医制度が立ち上がり、多くの研修プログラムが立ち上がる中でかすんでしまった感じであった。手術見学は制度上で進めるのではなく個人の熱意が大切である。ただ、どの病院で何の手術をどれだけしているかの情報が研修医に伝わる事ができないかと思う。②の職場環境の改善については教育研修講演で取り上げたり、また実際に職場環境のアンケート調査を武蔵野日赤の山崎先生にいただいた。平成28年に始まった働き方改革が後押ししているが、このテーマが東日本整形災害外科学会、日本整形外科学会では特別講演や、シンポジウムに取り上げられるようになった。救急の受け入れの問題や、当直、時間外勤務の取り扱い、時間外労働についてはその増える要因、対策、タスクシフト問題が話題になり、今後も議論が進められる事と期待する。

主要目次

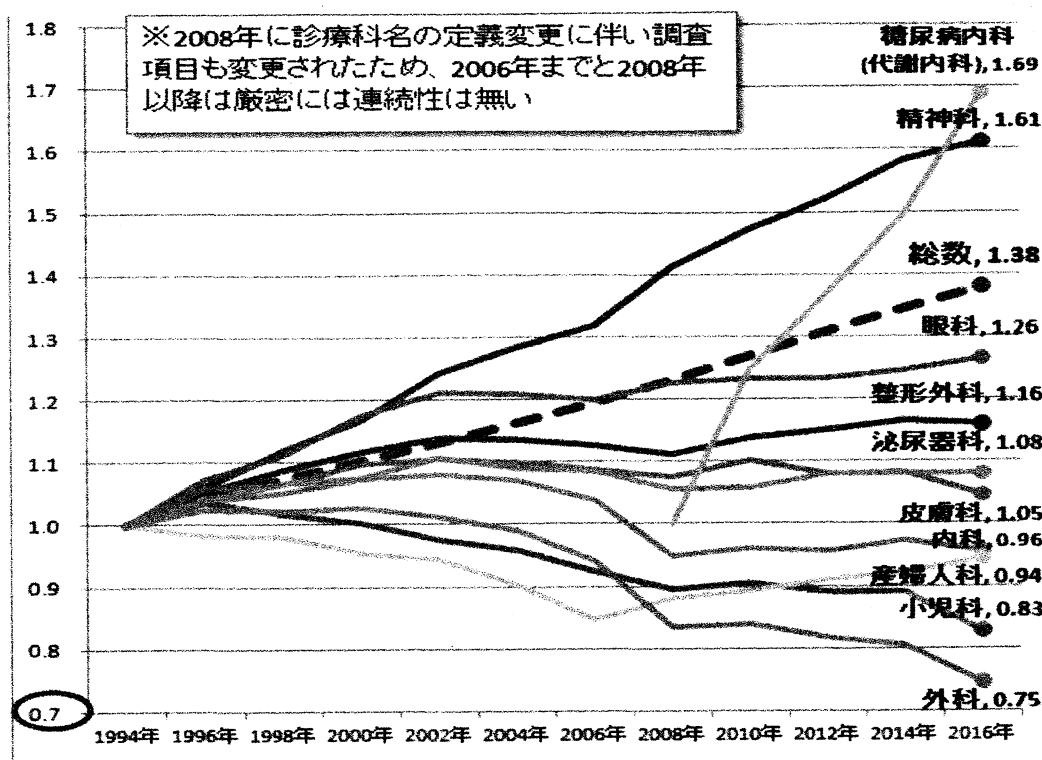
1. 巻頭言	山縣 正庸	1
2. 働きやすい安全な医療機関を目指して	和田 耕治	3
3. 平成31年度関東地区整形外科勤務医会幹事・常任幹事会議事録		4
4. 平成31年度関東地区整形外科勤務医会常任幹事会議事録		7
5. お知らせ		10
6. 編集後記		11
7. 入会のご案内		12

さて、医師の時間外労働についてはこの4月に動きがあった。平成28年8月に立ち上がった働き方改革の議論が集約され昨年7月「働き方改革を推進するための関係法律の整備に関する法律」が通常国会において可決され平成31年4月1日から施行開始となった。「働き方改革」は有無をいわず進められている。本年4月1日からは時間外労働の上限規制が課せられ違反した場合には罰則の対象となる。時間外労働の上限規制は原則月45時間、年360時間とされている。ただし、特別な事情が有って労使が合意する場合、特別条項で年720時間、月100時間未満とする事ができる。これには更にただし、がついていて、上限規制には業務によっては適用を猶予除外する事業業務がある。自動車運転、建設事業等業務によっては年960時間となる。これが病院で働く人のすべてに当てはまる事になった。しかし、医師については上限規制の適応は改正法施行5年後に行うとされ猶予された。2024年からはA一般病院B救急病院C大学等教育機関病院に分けられAでは上限規制が年960時間であるがB,Cでは上限規制が年1860時間となっている。しかしこれも2035年までには縮減させる方針とある。特にA,Bのどちらのタイプを撰ぶかは病院自身で決める事ができるであろうが、実際には各地域の医療圏の状況に応じて行政が個別に条件を規定するようになるだろう、これは専門医制度の医師数のいわば割当に県が意見を述べる事ができるとした状況に似ている。

事業主でない者は医師も労働者で監督署が示す勤務時間は守られなければならない。ただ、医師の場合、患者からの診療要求があればこれは断れないとする、応召義務があり、医師の働く時間はほぼ無制限とされて来た。しかしこの、応召義務についてもその解釈を新たにしなければならぬとする動きがある。そもそも応召義務が医師法(昭和23年法律201号)に規定された当時、病院における医師と、診療所における医師の比率は、現在と逆であった。(昭和26年医師数、病院：診療所=33：67)。診療所が拒否するために診療が受けられない患者がでてしまうのを防ぐために規定されたもので現在の様に救急センターも整備されず、ましては病院間の連携等が十分機能していない状況での事である。実際には応召義務が有っても他の患者の診療中であると専門外であるとかでは当然のように救急診療を断っている。現在ではただの倫理規範となっている。法的には断っても刑事罰とはならない。ただ、状況からみて適切でない場合には民事において訴えられる事は有るかもしれないとの事だ。応召義務については今後も議論の進行には眼が離せない。

医師不足が叫ばれ、医学部定員が増加された事により、医師数は毎年4000人が増加し、平成29年1月1日住民基本台帳によると人口10万人当たり238.3人、総医師数は30万4759人、平成6年を100とした場合、平成28年には138しかし、整形外科は116に過ぎない、(外科は75)全科的に今後医師は充足されるとあるが整形外科はまだ不足の状態であろう、このような時には是非、整形外科医師の働く環境を考えるべく病院の指導的立場にある先生方は行動を起こしてほしい。「今」始める事のできる対策として医師のタスクシフトの問題がある。今回、医師のタスクシフトについてこの9月に開催される東日本整形災害外科学会でシンポジウムを組ませていただいた。医師事務作業補助者の活用、特定行為研修終了看護師の活用、男女共同参画がなし得る事、臨床工学士の活用等の点から議論を進めていく予定である。整形外科が「元氣」になるには、一般社会からはもちろんであるが、医学部生、研修医からも魅力ある整形外科にならなければ、そのためには我々が疲弊してはならない。「今」できる改革を少しでも進めたいと願っている。

医療施設従事医師数の年次推移(1994年とした時)



第 67 回 日整会認定教育研修会

平成 30 年 12 月 15 日

16:00-17:00

働きやすい安全な医療機関を目指して ～医師の働き方改革の動向を踏まえて～

国際医療福祉大学医学部公衆衛生学教授

和田 耕 治

働き方改革の波が医療機関、そして医師にまで押し寄せている。これまでは、労使の合意があれば残業時間に上限が無かったが、今後は、1ヶ月に100時間、複数月の平均で80時間の時間外労働が上限となり、これを超えて労働させると法律違反となり罰金が科せられることになった。医師はいくつかの業態とともに例外とはされているが、医療機関でも医師以外では適応される。これにより今後は労災で認定され「過労死」とされる事案はほとんどなくなるといえる。そもそも、認定に合致する労働時間をさせることが法律違反だからである。

医師の労働時間については現在、厚生労働省において様々な議論がなされている。一定の見解は2019

年2月を目処に示されるそうだ。医師の場合には自己研鑽と業務の境目が不明確ではあったが、可能な限り明らかにされようとしている。研究については、自己研鑽なのか業務なのかといったこれまでにない判断が現場には求められることになる。

医師の労働時間については、勤務間インターバルと呼ばれるように、家に帰ってから再び勤務にでるまでには8時間を空けるようにといった方向性が示されている。これは家に帰って6時間は睡眠をとるべきであるという考え方が背景にある。医師に改めて休息や睡眠が重要であることの認識を求めることとなる。また、残業時間も一般的な医師や、地域医療や技能を高めたい医師などによって定められるとも言われている。

こうしたなかで、医療機関に求められている行動としては、次の3つがある。1. 労働関係の法令の遵守(労働基準法、労働安全衛生法など)、2. 職員間の対話によりどのような改善策があるかを協議し、様々な工夫を実践すること、3. 1人1人の意識と行動の改革である。それぞれについて簡単に触れる。

医療機関では、労働時間の管理をさらに徹底するためにタイムカードの導入は必須である。また、残業の許可を上司がすること、帰宅しない医師には業務命令で帰宅させるなどの対応が必要となる。すでに様々な医療機関で取り組みがなされており、今後は良好事例の共有が求められる。

職員間の対話により、どうしたら働きやすい職場になるか検討したい。そうした場がなければ月に1度開催される安全衛生委員会の場合を活用しても良いであろう。

医師の意識と行動の改革としては、医師個人の健康への取り組みの強化がある。喫煙だけでなく、運動、飲酒、バランスの良い食事、睡眠など医師自らが良好でないと患者に対しても十分な指導ができないと言われている。医師はストレスも多いため、普段からのストレスマネジメントにも力をいれたい。

働き方改革の今回の波は「本物」である。今こそ率先してこの波に乗りたい。

参考文献：相澤好治、和田耕治.医療機関における産業保健活動ハンドブック.産業医学振興財団,2019年2月予定

関東地区整形外科勤務医会 幹事・常任幹事会議事録

日時:平成30年12月15日 土曜日 15:00~15:45

場所:AP東京八重洲通り

出席者:山縣 正庸、眞塩 清、楠瀬 浩一、黒木

啓文、浦部 忠久、有馬 亨、上田 誠司、大野

隆一、新井 嘉容、土屋 正光、原田 義忠、三上

容司、亀山 真、江畑 功、中川 照彦、伊室 貴、

木村 雅史、秋山 典彦、進藤 重雄、鎌田 修博、

山崎 隆志、清水 健太郎、星川 吉光、佐々木 孝、

平泉 裕、村松 俊樹、山本 精三、小森 博達、

大江 隆史、三笠 元彦、新関 祐美、浅野 聡、

河内 敏行、松本 誠一、田中 利和

(敬称略、順不同:35名出席)

議 題

1 理事会報告

山縣先生より報告

2 関東地区整形外科勤務医会(第67回教育研修会)

平成30年12月15日(土)16:00~18:00

AP東京八重洲通り

演題1 座長 山縣 正庸 先生

必須分野番号:14・1

演題:働きやすい安全な医療機関を目指して

~医師の働き方改革の動向を踏まえて~

国際医療福祉大学医学部 公衆衛生学/

医学研究科 公衆衛生学

和田 耕治 先生

演題2 座長 浅野 聡 先生
必須分野番号：2、9 リハビリ
演題：小児の肘部外傷・疾患に対する手術治療
信州大学医学部運動機能学講座
加藤 博之 先生

3 来年の関東地区整形外科勤務医会 幹事・常任
幹事会、総会、第 68 回教育研修会の日時、場
所

日時：平成 31 年 6 月 15 日(土)
場所：A P 東京八重洲通り
14:30～15:20 幹事・常任幹事会
15:30～15:50 総会
15:50～16:00 商品説明
16:00～18:00 第 68 回教育研修会 2 演題
18:00～ 情報交換会

4 平成 31 年 3 月の常任幹事会の日時、場所

日時：平成 31 年 3 月 18 日
月曜日 19:00～20:00
場所：A P 東京八重洲通り

5 第 69 回教育研修会の日時、場所

日時：平成 31 年 12 月 14 日
土曜日 16:00～18:00
場所：A P 東京八重洲通り

6 ホームページ・会報
江畑先生より報告

7 ロコモ チャレンジ! 推進協議会の活動報告会
大江先生より報告

8 山縣 正庸 先生が今年度 (2019 年 5 月 31 日)
で会長を退任
全会一致で承認

9 江畑 功 先生が来年度 (2019 年 6 月 1 日) か
ら会長に就任
全会一致で承認

10 伊室 貴 先生が来年度 (2019 年 6 月 1 日)
から事務局広報に就任
全会一致で承認

11 新常任幹事
桂川 陽三 先生(国立国際医療研究センタ
一病院整形外科医長)
全会一致で承認

12 新幹事
西本 和正 先生(川崎市立井田病院整形外
科部長)
全会一致で承認

13 日整会理事候補
鎌田 修博 先生 けいゆう病院
江畑 功 先生 横須賀共済病院
全会一致で承認

14 日整会代議員候補 (13 名)

三上 容司先生 横浜労災病院
日整会専門医機構
鎌田 修博 先生 けいゆう病院
日本整形外科勤務医会 会長
桂川 陽三 先生 国立国際医療センター院
日本整形外科勤務医会 事務局
江畑 功 先生 横須賀共済病院
関東地区整形外科勤務医会 会長
中川 照彦 先生 同愛記念病院
関東地区整形外科勤務医会 事務局 総務
山本 精三 先生 虎の門病院
東京都整形外科勤務医会 代表
三原 久範 先生 横浜南共済病院
神奈川県整形外科勤務医会 代表
新井 嘉容 先生 埼玉県済生会川口総合病院
埼玉県整形外科勤務医会 代表
原田 義忠 先生 千葉県整形外科勤務医会
千葉県整形外科勤務医会 代表
平野 篤 先生 水戸協同病院
茨城県整形外科勤務医会 代表
清水健太郎 先生 佐野厚生総合病院
栃木県整形外科勤務医会 代表

寺内 正紀 先生 JCHO 群馬中央病院
群馬県整形外科勤務医会 代表
新関 祐美 先生 草加市立病院
関東地区整形外科勤務医会 女性枠
以上 13 名の立候補が日整会事務局にて受理されたことを確認

1 5 日整会補欠代議員候補 1 名
村松 俊樹 先生 公立昭和病院
関東地区整形外科勤務医会教育研修委員長

1 6 外保連関係

日本整形外科勤務医会からの平成 32 年用要望項目アンケート

技術新設

要望順位 1

・放射線被ばく下操作が必要な手術に対しての加算
(勤務医会が記載学会)

要望順位 2

・超高齢者大腿骨近位部骨折早期手術加算
(記載学会は日本整形外科学会、勤務医会は連名学会)

技術改正

要望順位 1

・「複数手術に係る費用の特例」への K182-3 神経再生誘導術の追加
(記載学会は日本手外科学会、勤務医会は連名学会)

要望順位 2

・黄色靭帯骨化症手術の多椎間加算
(記載学会は日本整形外科学会、連名学会として要望)

材料 新規・改正

要望順位 1

・脊椎手術時のマイクロドリルでのダイヤモンドバー及びスチールバー
(記載学会は日本整形外科学会、連名学会として要望)

要望順位 2

・放射線防御手袋

(記載学会は日本整形外科学会、連名学会として要望)

1 7 内保連関係

山縣先生より報告

1 8 その他

【審議事項】

1 第 68 回教育研修会 (平成 31 年 6 月 15 日土曜日) の演者の選定に関して

候補者と演題名 (仮題) 村松先生より報告

1) 金岡恒治先生 (早稲田大学スポーツ科学学術院教授) : 腰痛の運動療法について

2) 小西宏昭先生 (長崎労災病院副院長) : 医療機器単回、複数使用の是非と安全性
感感染リスクは減少するか?

2 第 68 回教育研修会 (平成 31 年 6 月 15 日土曜日) の座長の選定

座長の所属の確認

座長 1 田中 利和 先生 (キッコーマン総合病院)

座長 2 鎌田 修博 先生 (けいゆう病院)

3 来年の第 68 回東日本整形災害外科学会パネル (シンポ) に関して

テーマ、演者、座長 など

4 2019 年 10 月の常任幹事会の日程

10 月 7 日 (月曜日)、10 月 21 日 (月曜日)、10 月 28 日 (月曜日)

場所は AP 八重洲通り

10 月 28 日、AP 東京八重洲通りにて開催決定

5 新幹事の推薦

推薦無し

6 新常任幹事の推薦

國吉 一樹 先生 (流山中央病院)

推薦者：田中 利和 先生

・功労賞、学術賞、学会賞受賞予定者の紹介

・専門医試験結果 正解率 68%、合格率 89%

・日整会認定骨軟部腫瘍医 112 名が登録

7 その他

2 関東地区整形外科勤務医会 幹事・常任幹事会

総会、第 68 回教育研修会の日時、場所

関東地区整形外科勤務医会 常任幹事会 議事録

参加常任幹事

新井 嘉容、石橋 英明、泉田 良一、伊室 貴、
岩瀬 嘉志、江畑 功、大江 隆史、大野 隆一、
落合 直之、桂川 陽三、亀山 真、河内 敏行、
楠瀬 浩一、佐々木 孝、篠崎 哲也、清水 健太
郎、進藤 重雄、土屋 正光、寺内 正紀、富田 善
雅、中川 照彦、原田 繁、原田 義忠、平泉 裕、
平野 篤、別府 保男、穂積 高弘、眞塩 清、
三上 容司、三原 久範、村松 俊樹、山縣 正庸
山崎 隆志、早稲田 明生

(五十音順、敬称略 34 名)

日時：平成 31 年 3 月 18 日 月曜日 19:00～20:00

場所：AP 東京八重洲通り

日時：平成 31 年 6 月 15 日(土)

場所：AP 東京八重洲通り

14:30～15:20 幹事・常任幹事会

15:30～15:50 総会

15:50～16:00 商品説明

16:00～18:00 第 68 回教育研修会 2 演題

18:00～ 情報交換会

第 68 回教育研修会

1) 金岡恒治先生 (早稲田大学スポーツ科学学術
院教授)：腰痛運動の基本知識 (仮)

座長 田中利和先生

2) 小西宏昭先生 (長崎労災病院副院長)

：医療機器単回、複数使用の是非と
安全性

感染リスクは減少するか?

座長 鎌田修博先生

議 題

【報告事項】

1 理事会報告

山縣先生より報告

- ・第 92 回日本整形外科学会学術集会の概要
- ・症例調査検討委員会の症例登録制度について現状、方法案等

・第 95 回学術集会 会長…大川 淳先生
(東京医科歯科大学)

第 37 回基礎学術集会 会長…帖佐 悦男
先生 (宮崎大学)

第 55 回骨軟部腫瘍学術集会 会長…
川井 章 先生
(国立がん研究センター)

- ・学会新理事、監事の報告

3 第 69 回教育研修会の日時、場所

日時：平成 31 年 12 月 14 日

土曜日 16:00～18:00

場所：AP 東京八重洲通り

4 ホームページ・会報

江畑先生より報告

会報は 5 月中旬に発刊予定

5 ロコモ チャレンジ! 推進協議会の活動報告会

大江先生より報告

・インターネット調査の実施

・落合 陽一氏 (メディアアーティスト) と
コラボレーションを企画

・一万人調査は解析中

6 山縣 正庸 先生が今年度 (2019 年 5 月 31 日)

で会長を退任

7 江畑 功 先生が来年度（2019年6月1日）から会長に就任

8 伊室 貴 先生が来年度（2019年6月1日）から事務局広報に就任

9 新常任幹事内定

桂川 陽三 先生(国立国際医療研究センター病院整形外科医長)

國吉 一樹 先生(流山中央病院)

10 新幹事内定

西本 和正 先生(川崎市立井田病院整形外科部長)

11 日整会理事候補

鎌田 修博 先生 けいゆう病院

江畑 功 先生 横須賀共済病院

12 日整会代議員選挙にて以下の13名の先生方が当選した(全員当選)

三上 容司 先生 横浜労災病院
日整会専門医機構

鎌田 修博 先生 けいゆう病院
日本整形外科勤務医会 会長

桂川 陽三 先生 国立国際医療センター病院
日本整形外科勤務医会 事務局

江畑 功 先生 横須賀共済病院
関東地区整形外科勤務医会 会長

中川 照彦 先生 同愛記念病院
関東地区整形外科勤務医会 事務局 総務

山本 精三 先生 虎の門病院
東京都整形外科勤務医会 代表

三原 久範 先生 横浜南共済病院
神奈川県整形外科勤務医会 代表

新井 嘉容 先生 埼玉県済生会川口総合病院
埼玉県整形外科勤務医会 代表

原田 義忠 先生 千葉県済生会習志野病院
千葉県整形外科勤務医会 代表

平野 篤 先生 水戸協同病院
茨城県整形外科勤務医会 代表

清水健太郎 先生 佐野厚生総合病院
栃木県整形外科勤務医会 代表

寺内 正紀 先生 JCHO 群馬中央病院
群馬県整形外科勤務医会 代表

新関 祐美 先生 草加市立病院
関東地区整形外科勤務医会 女性枠

13 外保連関係

亀山先生から

日本整形外科勤務医会からの提案内容

① 放射線被曝下手術加算

② 放射線防御手袋

14 内保連関係

山縣先生から

筋量測定加算を提案

運動器不安定症の診断で保険点数化

15 第68回東日本整形災害外科学会のシンポジウムに関して

山縣先生から

2019年9月5日～6日 東京ドームホテル
東京医科歯科大学 大川教授 主催
テーマ：医師のタスクシフト

シンポジウムのテーマは医師の働き方改革と関連づけまして

「医師のタスクシフト、どこまで進んだか」(仮題)

演者、演題名(仮演題名)

① 武蔵野赤十字病院 看護副部長 奥田悦子
特定行為研修の研修指定機関として

② JCHO 千葉病院 看護師 高田美由紀
特定行為研修終了看護師として現場の状況、問題点

③ 聖隷佐倉市民病院 臨床工学士 八木 努
病院機能を高めるためのCEとしての立場から現状報告と問題点

④ 千葉労災病院 医事課 渋谷 さえ
医師事務作業補助者の活用

⑤ 東京女子医科大学 医学教育学 山内かづ代
医師の効率よい働き方のために男女共同参画

がなし得る事、問題点

(各演者の発表タイトルは確定のものでは有りません、当方からの依頼の原案です。)

16 2019年10月の常任幹事会の日程

10月28日(月曜日)

場所はAP八重洲通り

17 その他

【審議事項】

1 第69回教育研修会(平成31年12月14日土曜日)の演者の選定に関して

候補者と演題名(仮題)

村松先生より

研修委員にて検討中

演題1 河野 博隆 先生(帝京大学):がん

ロコモ関連

演題2 未定

2 内保連委員会の交代に関して

山縣先生より内保連委員の交代の要望

中川 照彦 先生より推薦

石橋 英明 先生(伊那病院)

全会一致で承認

3 新幹事の推薦

今回は無し

4 新常任幹事の推薦

今回は無し

推薦においては該当者のメールアドレス必須

5 「ロコモ土骨粗しょう症検診の提案」に関して

泉田先生より

ロコモティブシンドローム普及を目的とした取り組み

配布資料① パンフレット「運動器検診とロコモ」

配布資料② ロコモ土骨粗しょう症健診の提案

お知らせ

令和元年度関東地区整形外科勤務医会 第68回 日整会認定教育研修会の御案内

関東地区整形外科勤務医会では、下記のごとく幹事会及び教育研修会を開催いたします。なお、研修会の出席予約は要りません。専門医以外の先生方もお誘いの上、ご参加下さい。会終了後、懇親会も予定しております。

記

日 時：令和元年6月15日（土） 開始時間は下記ご参照ください

会 場：AP東京駅八重洲通り 11F

〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目10-7号

TEL 03-6228-8109（当日連絡先）

幹事・常任幹事会：14:30～15:20

総 会：15:30～15:50

15:45～16:00

【教育情報提供】 『医療用貼付剤の特徴』 帝國製薬（株）製品情報室

16:00～18:00

【演題Ⅰ】 座長：キッコーマン総合病院副院長 田中 利和 先生

腰痛のプライマリーケア [7] Re

演者：早稲田大学スポーツ科学学術院

教授 金岡 恒治 先生

【演題Ⅱ】 座長：けいゆう病院副院長 鎌田 修博 先生

医療機器単回、複数使用の是非と安全性

感染症リスクは減少するか？ [14-1]

演者：労働者健康安全機構長崎労災病院

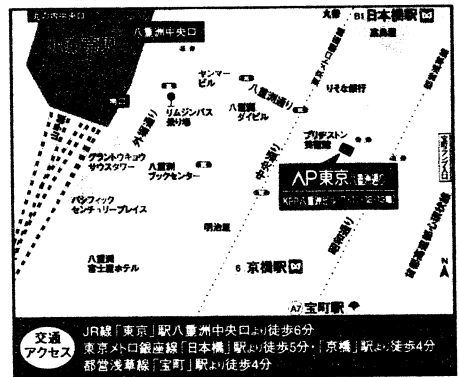
副院長 小西 宏昭 先生

受講料：1題 ¥1,000-（単位取得者のみ）

懇親会：会終了後情報交換の場を設けております。

共 催：関東地区整形外科勤務医会

帝國製薬株式会社



事務局から

5月の日整会社員総会に併せて、「整形外科専門研修プログラムに関するシーリング案」が厚労省から示されました。整形外科医自体はまだ全体的には充足されていないが、地域により多少の偏在があり、それを元に専攻医の地域配分を検討することを考えているようです。これには「医師の偏在」「地域における必要医師数」などに「働き方改革」を絡めて説明していましたが、各科の医師数や地域配分を「最終的にはすべて厚労省が管理する」ということにしたいのだろうと感じたのは私だけでしょうか。現在議論中の「働き方改革」とともに、われわれ整形外科勤務医は最もその影響を受けやすい立場ではないかと思われしますので、今後の動きを注視しつつ、声をあげ続ける必要があると思います。

昨年12月の研修会でも非常に多くの先生方に参加していただき、大盛況でした。今回もその時の講演抄録をいただき、掲載させていただきました。来る6月の研修会には、ぜひ若手の先生方にも声をかけていただき、さらに盛況になることを期待したいと思います。またその際は、ぜひ勤務医会の会員になるようにお話しいただけるよう、お願いいたします。ホームページも少しずつですが更新しており、各病院のホームページにもリンクしています。万一掲載漏れや変更等ありましたらご連絡ください。今後さらに充実させていきたいと考えておりますので、会員の皆様のご意見をお寄せください。

文責 江畑)

入 会 申 込 書

令和 年 月 日

(フリガナ)
御 氏 名 _____

生 年 月 日 (昭和・平成) _____ 年 _____ 月 _____ 日

現 住 所 〒 _____

TEL _____

勤 務 先 名 称 _____

勤 務 先 住 所 〒 _____

TEL _____

FAX _____

e-メール _____

役 職 名 _____

出 身 大 学 _____

卒 業 年 度 _____

出 身 教 室 _____

入会申込み送り先
〒130-8587 東京都墨田区横網2-1-11
同愛記念病院整形外科
関東地区整形外科勤務医会
事務局代表 中川 照彦
TEL 03-3625-6381
FAX 03-5608-3211